

わがまち南街・中央・桜が丘支えあいを考える会

南街・桜が丘地域防災協議会本部

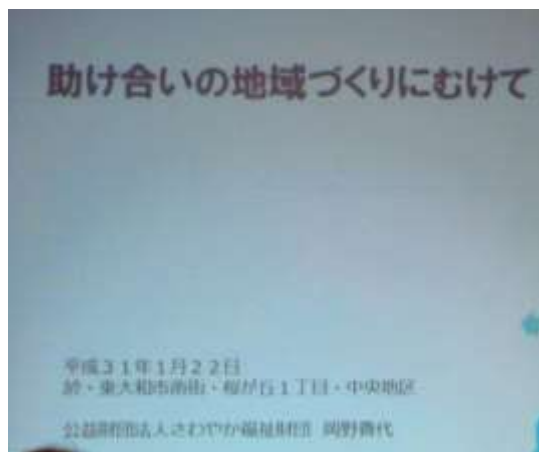
2019年02月19日

02月19日に南街公民館で「高齢者ほっと支援センターなんがい」主催で標題の会が開催されました。この会は「第2層生活支援コーディネーターの設置目的・役割」を主題として地域の高齢化に伴う、高齢者を含む地域の生活支援を行う多くのコーディネーターが必要となり、このコーディネーターを育成して、住民力の高い地域を創る為会議で01月22日の第一回に引き続き第2回目の勉強会が開催され、今回も約40名の参加があり、下記のレジメの内容に沿って主催側の説明及びグループワークの実施、その結果発表がされました。以下主要内容を報告致します。

司会；岡部様



さわやか福祉財団
四ツ目様



参加の皆様



わがまち南街・桜が丘1丁目・中央のささえあいを考える会(2回目)次第

日 時： 平成 31 年 2 月 19 日 (火)
午後 2 時 00 分 ~ 4 時 00 分

場 所： 南街公民館 202 号室

次 第：

1. 開会あいさつ

2. 前回の振り返り

公益財団法人さわやか福祉財団 四ツ目 理恵 氏

東大和市高齢者ほっと支援センターなんがい

生活支援コーディネーター 岡部 誠

3. グループワーク

- ①目指す地域像の実現に向けて、地域にはどんな課題がありますか
- ②その課題を解決する為に必要な活動は何でしょうか

4. 発表・コメント

公益財団法人さわやか福祉財団 四ツ目 理恵 氏

5. 閉会あいさつ

次回：平成 31 年 3 月 19 日 (火) 午後 2 時 00 分~4 時 00 分
南街公民館 202 号室

【配布資料】

- ① 次第(こちらの用紙です)
- ② 第 1 回目のグループワークで出た内容

1. 前回の振り返り

今回のグループワークをスムーズに展開させる為、前回の講演及びグループワークの検討結果のおさらいを行いました。

1.1 関連団体の講演関連

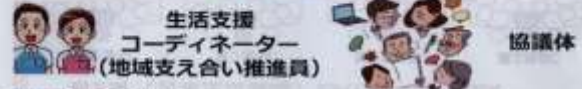
01月22日の第一回の勉強会で説明がありましたが、今回も確認の意味を含めその概要が改めて、「なぜ今、地域に助け合いが必要か」をテーマとして「公益財団法人さわやか福祉団体」より、下記資料を使用して地域における生活支援のコーディネーター及び組織育成の必要性について説明されました。(下記資料は使用された一部です)

協議体と生活支援コーディネーターの配置イメージ



目指す地域像の実現に向けた新しい制度の誕生

生活支援体制整備事業という地域の支え合いづくりを応援する人とチームが出来ました。



地域の支え合いを推進する人。

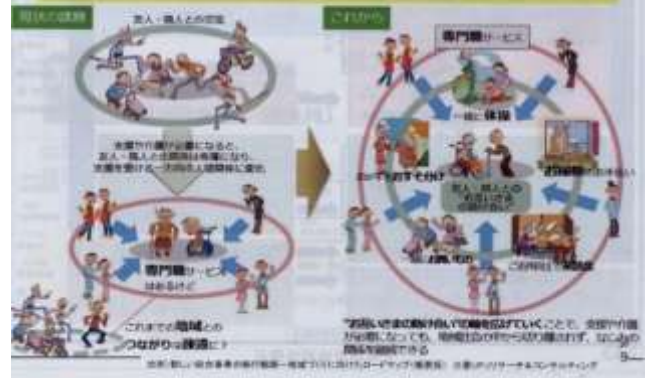
生活支援コーディネーターとともに、地域の支え合いを推進するチーム。

住民のみさんの“できる”“欲しい”“やりたい”を応援します。

社協、地域包括支援センターを中心に、多様な主体が集まる。



最後まで地域で暮らすには ~「お互いさま」の助け合いを広げましょう~



二次予防事業の実績の推移

二次予防事業への参加者数の目標を高齢者人口の5%を目安として取り進めてきたが、平成25年度の実績は0.8%と低調である。

年度	高齢者人口(2015年10月1日現在)	参加者数(2015年度)	参加率(%)	2015年度目標(5%)	2014年度実績
H10	46,764,472	—	—	0.0%	2,911人
H11	47,487,195	—	—	0.0%	3,293人
H12	48,291,987	—	—	0.0%	4,090人
H13	49,183,268	—	—	0.0%	4,160人
H14	50,066,130	—	—	0.0%	4,972人
H15	50,948,874	—	—	0.0%	5,514人
H16	51,832,623	—	—	0.0%	6,771人
H17	52,717,421	—	—	0.0%	8,165人

最後まで住み慣れた地域で暮らしたい ~地域包括ケアシステムの構築~



介護給付と保険料の推移

年度	介護給付(円)	保険料(円)	介護給付/保険料
2001年度	4,600	2,911	1.58
2002年度	5,000	3,293	1.52
2003年度	5,500	4,090	1.35
2004年度	6,000	4,160	1.44
2005年度	6,500	4,972	1.31
2006年度	7,000	5,514	1.27
2007年度	7,500	6,771	1.11
2008年度	8,000	8,165	0.98

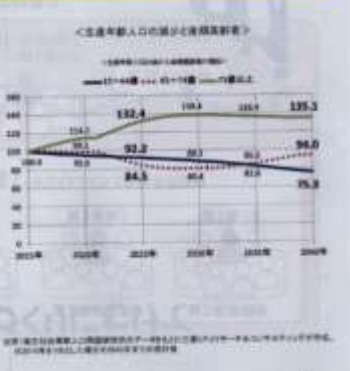
高齢者の生活支援ニーズ拡大と サービス担い手の不足

■今後の生活支援ニーズの拡大と人材不足

○今後、生活支援ニーズは拡大していく
生活支援の担い手は、高齢者だけでなく、障害・若い世代・外国人等の生活支援が必要とするケースが拡大。今後、高齢者の暮らし・生活のみならずが増加するに伴い、生活支援ニーズはこれ以上以上に拡大していく。


○生活支援ニーズの増加に対してホームヘルパーを中心に介護人材が不足する
今後、認定者が増加する一方で、若い世代である介護従事者人口は減少していく。拡大する生活支援ニーズに対し、その対応が従来従事者(ホームヘルパー)が担っていたことは人材面で支えきれない状況になっていくことが予想される。

○中長期的な在宅型介護を支える人材も確保が必要
→ホームヘルパーはより専門性の高い「身体介護」へ、介護職に必要とされる地域で生活支援を行うためには、「身体介護」の確保を確保していく必要がある。すでに世界的に人材不足が懸念される中、ホームヘルパーが身体介護に重点を置く傾向は、生活支援体制づくりの重要な課題となる。



1.2 前回グループワーク検討結果

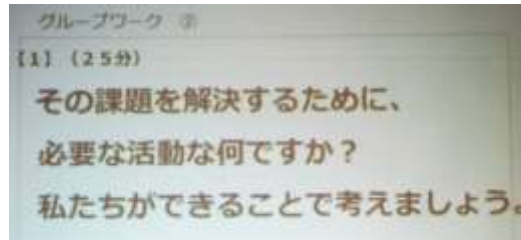
前回各グループワーク検討結果のまとめは以下資料により主催者側から説明されました。

わがまち南街・桜が丘1丁目・中央のささえあいを考える会 1日目 グループワークまとめ		
	テーマ① どんな地域だと将来安心して暮らせますか？	テーマ② 目指す地域像の標語を作ってみましょう
1G	<p>人とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> 近所での助け合い 周りの人を思いやれる <p>あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶のある地域 声を掛け合える地域 <p>医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問医療が充実 <p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間作りが出来る イベントがある 健康づくりが出来る 週に1度の茶話会がある 楽しみがある地域 <p>地域・コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会の繋がりが強い地域 	<p>【キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> 笑顔がいっぱい みんな仲間 仲良く 楽しく 元氣よく みんなでつくる東大和 オープンなつながり広げる光が丘 明るい声かけ 助け合い 安心 楽しい 私の街 <p>【標語】</p> <ul style="list-style-type: none"> みんな 仲良く 元氣よく あいさつ 笑顔が光るまち
2G	<p>人とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> 助け合い 地域の目 必要と供給 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 空気がきれい 医療が充実している <p>コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶がかわせあう 顔見知り 顔を合わせたら会話が出来る <p>基本</p> <ul style="list-style-type: none"> 個性の尊重 <p>交流の実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークのある地域 趣味ごとのグループ 食事会・飲み会旅行等 交流がある 	<p>【キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> つかず 離れずのおせっかい 助け合い ネットワークで明るいまち 顔見知り が 知り合いになれる町 明るい笑顔 あられる町 笑いの緩和 仲良く 楽しい 地域の輪 <p>【標語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 明るさ × つながり = 笑顔
3G	<p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔見知り 近隣の声かけ活動 会話のある地域 <p>あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつのある地域 すれ違ったあ い さつする地域 <p>仲間作り</p> <ul style="list-style-type: none"> 一緒に活動できる 体操仲間がいる 気楽に立ち寄れるカフェ <p>相談</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談相手が身近にいる 子供が安全に暮らせる <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミ出しのマナーある街 ゴミのない街 <p>交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路の安全 散歩コースあり 街内にベンチある 	<p>【キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> 散歩コースであいさつ 明日は我が身ゆめに寄り添う 笑顔であいさつ 誰にでも あいさつで 心を かよわず 町づくり あいさつで始まる 遊びこころのある町 <p>【標語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 声かけ と あいさつが 心を通わす！ ～安全・安心な 街づくり～
4G	<p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 隣近所が仲が良い 近所の顔が見える関係 孤立化しないよう周りのとの関わりがある <p>多世代交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児との交流 各世代のバランスがとれている町 <p>居場所作り</p> <ul style="list-style-type: none"> サークル活動 茶話会 喫茶 <p>見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> 近所の人とあいさつできる お元氣ですか(声かけ) 地域で見守りが出来る 	<p>【キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児から じいちゃん ばあちゃん 手を繋ごう 笑顔で あいさつ 東大和 教育(今日行く) 教養(今日用) のある街 <p>【標語】</p> <ul style="list-style-type: none"> お互いに 少し気遣い 気遣われ 手を繋ぎ 世代を超えた 街づくり
5G	<p>子供</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供が育てやすい 子育て社会 子供の遊べる環境が整っている <p>地域・コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 近所にお互い様の関係がある地域 自治会や地域のルールがある 顔の見える地域で気軽に相談が出来る 地域の繋がりが強く 共同作業が出来る <p>安全</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害に強いまち 事件・事故に遭わないまち <p>便利</p> <ul style="list-style-type: none"> 近場で買い物しやすい <p>医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院が近い 健康・福祉が充実 	<p>【キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> お子さんから お年寄りまで緩やかなルールで守られたまち 安心 安全 笑顔 が生きるまち 東大和 昨日より 今日より 明日に誇って育て育てる 助け合いの街 知り合い 話し合い 助け合う 共に元氣に暮らせる街 <p>【標語】</p> <ul style="list-style-type: none"> お子さんから お年寄りまで 緩やかなルールで守られた わがまち
6G	<p>あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶し合える 笑顔が絶えない <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミがない緑ある公園がある 落書きのない 綺麗な街 みんなが共存できる街 <p>地域・コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> 無料で集える場所がある 困り事を相談できる仲間がいる 子育てがしやすい地域 <p>安全・安心</p> <ul style="list-style-type: none"> 交番がある 交通機関が充実 病院が近くにある 	<p>【標語】</p> <p>ひ 人とのつながり が 頑張りすぎずに し 知り合い増やそう や やさしさ あられる ま まんまる笑顔で と ともに生きよう 東大和</p> 

2. 今回のグループワーク

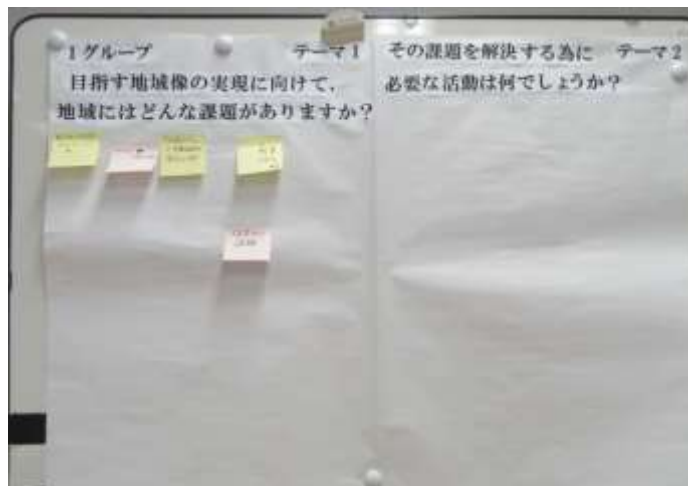
2.1 今回の課題

以下2件を下記添付の資料の通りポストイット紙及び模造紙を使用してグループ内で議論／纏めを行いその結果を各グループの代表者は発表しました。各グループ共に完成した標語は前段の議論を基本としての特色のある解決方法、活動の創造が出来たと思います。



2.2 各グループのワーク及び発表状況

・ 第1グループ

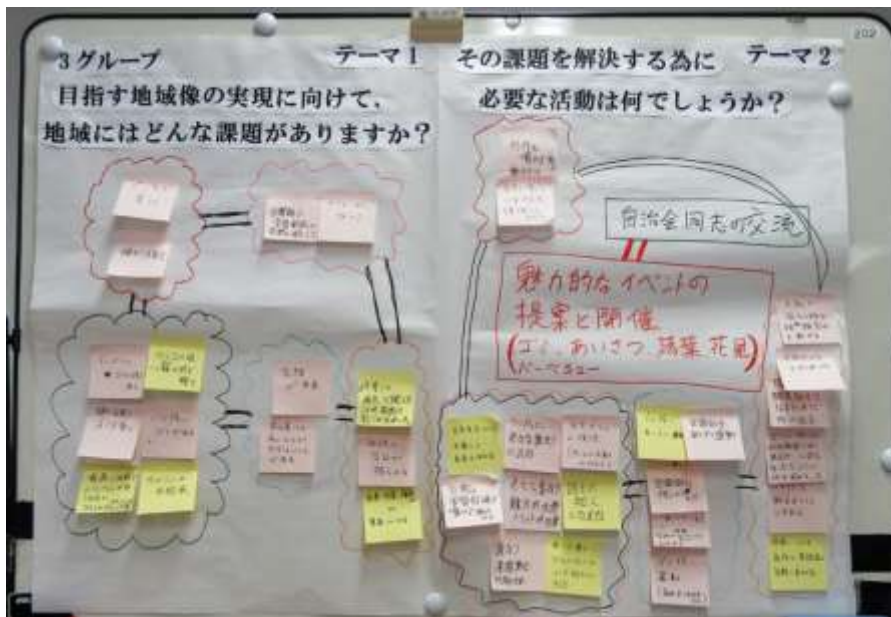


・ 第2グループ

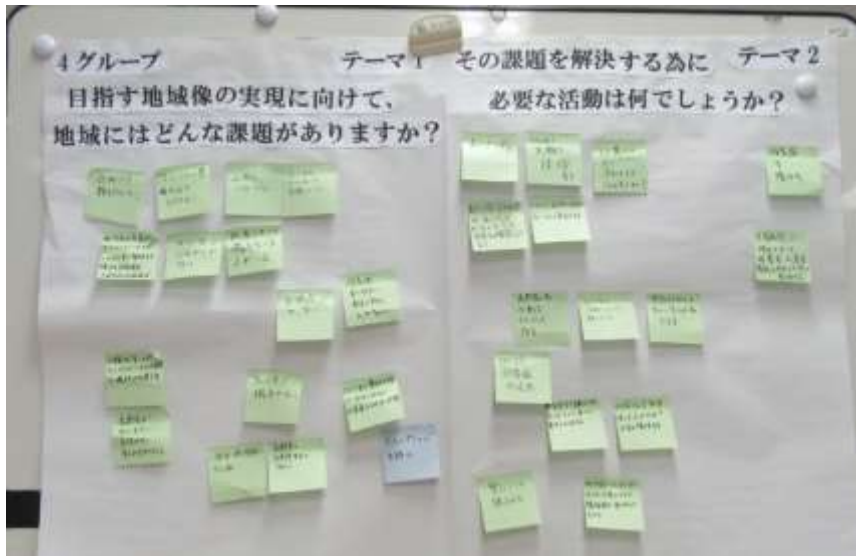




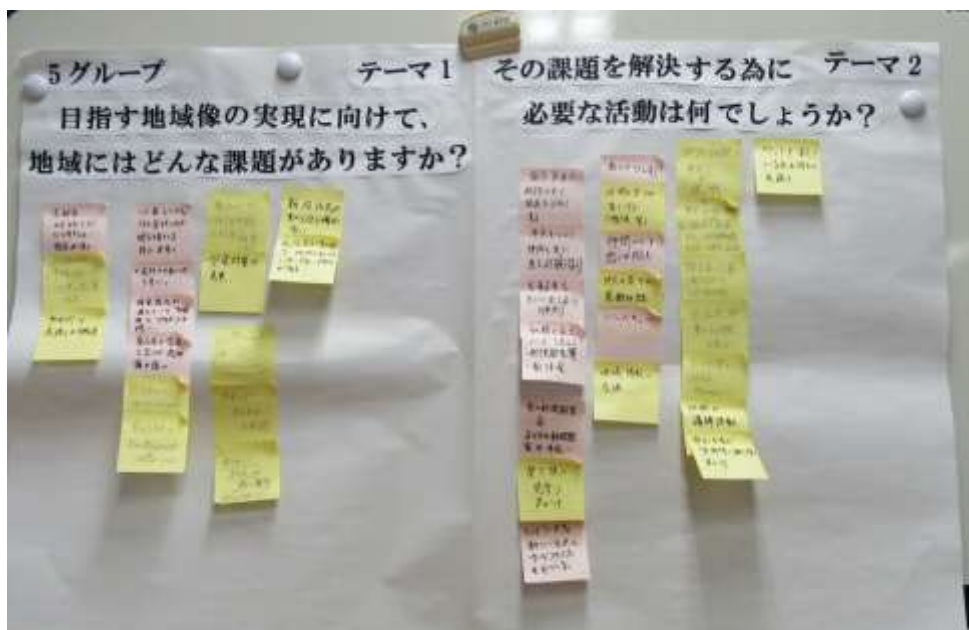
・ 第3グループ



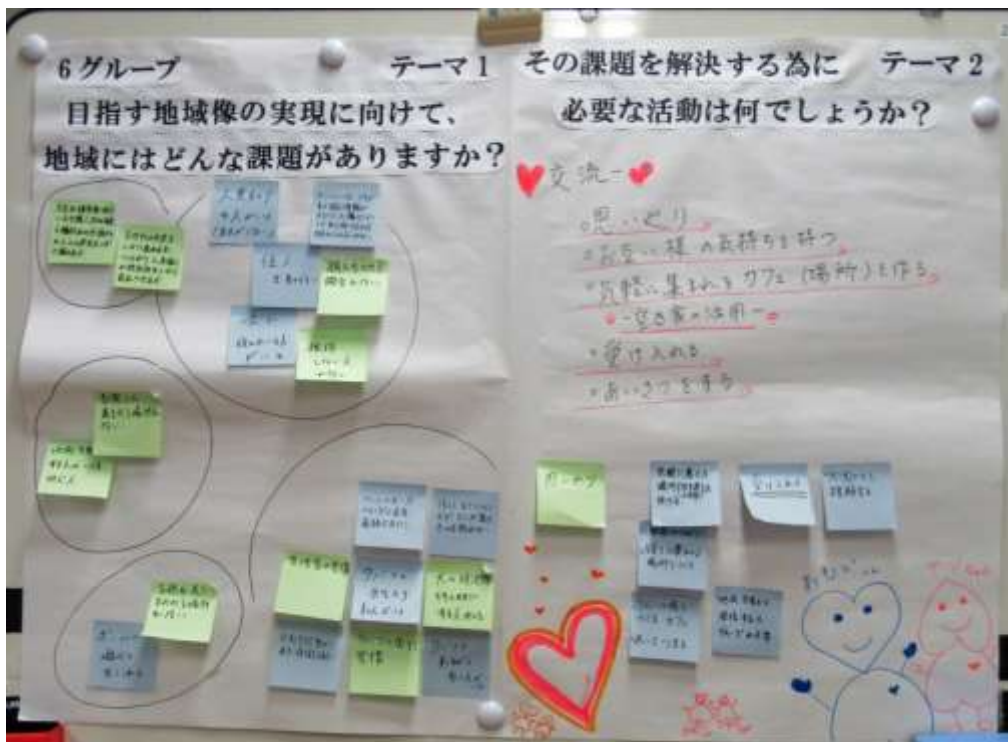
・ 第4グループ



・ 第5グループ



・ 第6グループ



わがまち南街・中央・桜が丘 ささえあいを 考える会

隣近所との付き合いがない、困ったときに頼る人がいないなど、日常生活に不安を感じている高齢者等が増えています。高齢者一人一人を支えて行くためには、住民同士の助け合いによる支援が必要になります。助け上手・助けられ上手な人がたくさんいる地域になるように、「お互いさま」で支えあう地域づくりを一緒に考えてみませんか？

日時： 第1回 1月22日(火)

第2回 2月19日(火)

第3回 3月19日(火)

時間はいずれも14:00~16:00です

会場： 南街公民館 202号室

定員： 40名 申込み制

(3回とも出席出来る方を優先させていただきます)

対象： 南街、中央、桜が丘地域にお住まいの方、
また当該地域で活動されている方

※お申込み・お問い合わせ先※
東大和市高齢者ほっと支援センターなんがい

042-566-8133

担当課：高齢介護

協力：公益財団法人さわやか福祉財団

